

# JESSE HARRIS Through The Night JAPAN TOUR 2010



彼の音楽を聴いていると、  
自分の信じていることを信じる、  
強さをもらえるような気がします。

おおはた雄一

ノラ・ジョーンズのヒットの立役者にしていまNYのフォーク・シーンの代表的存在、  
ジェシー・ハリスの来日が決定！サウンドがよりにストレートになって、  
いっそう歌の良さが伝わる新作「スルー・ザ・ナイト」の発売を記念して、  
久しぶりにバンドと共に来日。どうぞお見のがしなく!!

## ALSO AVAILABLE!

### NEW ALBUM

ジェシー・ハリス  
「コスモ」

ニューヨーク・ダウンタウンシーンの総帥  
ジョン・ゾーンのレーベル「TZADIK」から  
意外性に富んだインスト・アルバムが同時  
発売！「スルー・ザ・ナイト」収録の  
「Pixote」や、名曲「Somewhere Down  
the Road」などを、ケニー・ウォールセン、  
トニー・シェアー、ロブ・バーガーなど、  
ジャズシーンとゆかりの深い盟友らとともに  
好演。必聴！

2010年9月8日発売/  
税込 ¥2,520 (税抜 ¥2,400)  
解説：松永良平 TZ7635JP

…「Little Star」や「Cosmo」と  
いった曲に感じるのは、おだやかな  
即興から生まれる思いがけない  
スリルだけではない。きつこういう  
星屑が散りばめられたようなカ  
オスから、メロディやアレンジの  
かけらを拾い上げて、ジェシー・  
ハリスという音楽家は新たな名曲  
を生み出していくんだろうと思  
わせる、ひらめきの源泉みたいな  
ものがあるのだ。  
そう考えると「COSMO (宇  
宙)」と題されたアルバムそのもの  
が、とても意味深く思えてくる。  
銀河系を宇宙船が飛び交う情景を  
描かなくても、人間のなかに宇宙  
はある。その混沌としたきらめき  
のなかから生まれた断片が、いつ  
ものようにニューヨークの街角を  
歩くジェシー・ハリスの体を借り、  
彼の手足や口からあふれ出て、一



緒に演奏するミュージシャンを反  
応させ、やがて聴き手へと伝わる  
音楽になっていく。それは内面の  
宇宙とささやかな日常が音楽でつ  
ながって、素晴らしい瞬間を生み  
出せるということの証明でもある。  
彼はそれを突然表現したくなって  
しまったのかも知れない。

松永良平 (リズム&ペンシル/ハ  
イファイ・レコード・ストア) /  
ライナーノーツより抜粋

## TOUR INFORMATION

10.12 (火) 東京・渋谷クラブアトロ  
OPEN 18:30 START 19:30  
前売 4,800円 当日 5,500円  
(共に税込 ※整理番号付き)  
※当日入場時に別途ドリンク代 (500円) をいただきます  
チケット発売中  
■チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 117-036)  
■ローソンチケット: 0570-084-003 (Lコード: 77956)  
■e+: http://eplus.jp  
■プランクトン http://plankton.co.jp/ 03-3498-2881  
問: クラブアトロ ☎ 03-3477-8750

10.13 (水) 京都・磔磔  
OPEN 18:00 START 19:00  
前売 5,000円 当日 5,500円 (共に税込 ※整理番号付き)  
※当日入場時に別途ドリンク代 (600円) をいただきます  
チケット発売中  
■チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 117-401)  
問・予約: 磔磔 ☎ 075-351-1321

10.14 (木) 富山・フォルツァ総曲輪  
OPEN 18:30 START 19:30  
前売 一般 5,000円 学生 3,000円  
(※ライブ当日学生証等持参に限り入場時に2,000円キャッシュバック)  
当日 一般 5,500円 学生 3,500円  
(※ライブ当日学生証等持参に限り)  
チケット発売中  
■チケットぴあ (Pコード: 116-759)  
■ローソンチケット (Lコード: 57690)  
■e+: http://eplus.jp ■アーツナビ  
■フクロヤ (二口店、上飯野店、野村店)  
■フォルツァ総曲輪  
■オレンジ・ヴォイス・ファクトリーHP www.oravo.net  
問・予約: オレンジ・ヴォイス・ファクトリー  
076-411-6121 www.oravo.net

10.15 (金) 広島・クラブアトロ  
OPEN 18:00 START 19:00  
前売 4,800円 当日 5,500円 (共に税込 ※整理番号付き)  
※当日入場時に別途ドリンク代 (500円) をいただきます  
チケット発売中  
■ローソンチケット: 0570-084-006 (Lコード: 61486)  
■チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 116-777)  
■e+: http://eplus.jp/  
■デオデオ本店プレイガイド ■タワーレコード広島店  
問: クラブアトロ ☎ 082-542-2280

10.16 (土) 福岡・ROOMS  
COMMON GROUND presents  
Jesse Harris × Port of Notes  
[1st stage] 開場 16:00 開演 16:30  
[2nd stage] 開場 20:00 開演 20:30  
前売 5000円 当日 6000円 \* 1drink 別途 / 整理番号付  
■チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 117-954)  
■ローソンチケット 0570-084-008 (Lコード: 83798)  
問: HANABI 092-531-1199 http://common-ground.jp/

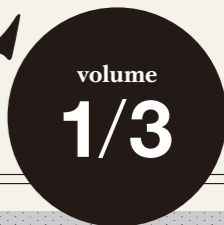
10.18 (月) 名古屋・ブルーノート  
1st ステージ: OPEN 17:30 START 18:30  
2nd ステージ: OPEN 20:30 START 21:15  
料金: 6,900円 (税込)  
チケット: 9/7 (火) 一般発売  
■チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 117-456)  
問・予約: 名古屋ブルーノート ☎ 052-961-6311 (11am-8pm)  
http://www.nagoya-bluenote.com

総合お問合せ: ヒルズトーン ☎ 03-3427-8186  
www.hillstone.jp

発行・編集人=石坂元 ヒルズトーン ☎ 03-3427-8186  
制作=若林恵 for WK&CO デザイン=富塚亮  
禁・無断転載 ©Hillstone, 2010

# JESSE HARRIS TRIBUNE

SEPTEMBER - OCTOBER 2010



最新作「スルー・ザ・ナイト」とグリニッチ・ヴィレッジの夜

## COMING SOON IN JAPAN

バンドとともに来日公演決定  
東京、京都、広島、富山、福岡、名古屋・・・  
チケット発売中!

## ANOTHER SIDE OF J.H.

同時リリースのインストアルバム「コスモ」の秘密。

ジェシー・ハリス最新作「スルー・ザ・ナイト」

# Through The Night

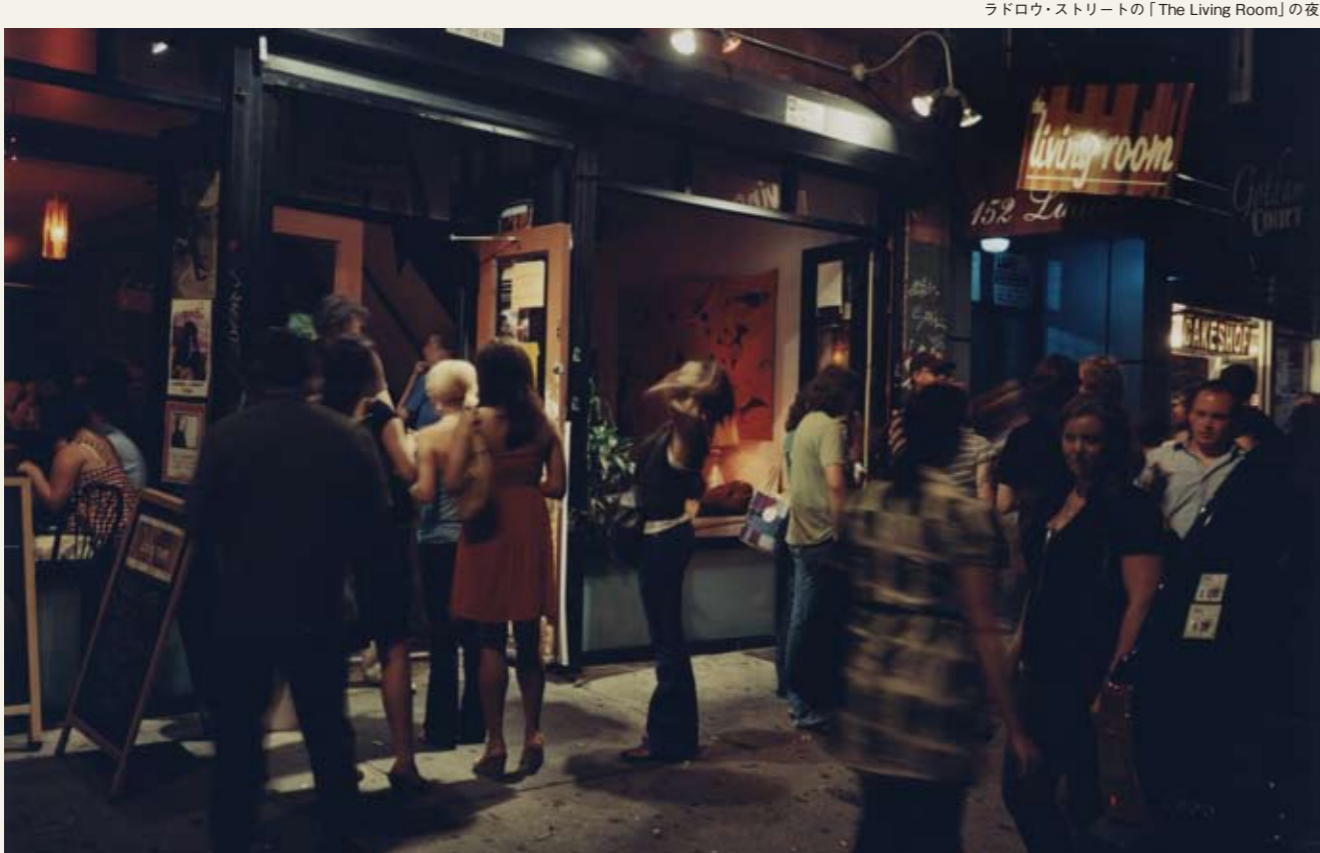
## ニューヨークの夜は、人を恋しくさせる。

ジェシー・ハリスの歌の秘密はどこにあるのか。

シンガーソングライターとして頑ななまでにシンプルなサウンドにこだわる一方、

ニューヨークならではの先進性も兼ね備えたアルバム「スルー・ザ・ナイト」に見る

ジェシーの二面性と、音楽都市ニューヨークの多層性。



ラドロウ・ストリートの「The Living Room」の夜

### ヴァレッジの人懐っこさ

ジェシー・ハリスを、ニューヨークのシンガーソングライター・シーンと一元的に関連づけてしまうのは、彼の幅広い活動を狹めてしまいかねないキライはあるのだが、それでも彼がこの街の音楽に深く根ざしていることに間違いはない。古くはかのボブ・ディランが活躍し、後にスザンヌ・ヴェガ、ジェフ・バックリー、そしてノラ・ジョーンズらを輩出した、グリニッチ・ヴァレッジの音楽シーン。ジェシーの歌は、この街の伝統をそこに感じさせながら、街の「今」の息吹を生き生きと響かせている。とはいえ、それは、強烈な上昇志向をもって熾烈なサバイバルを演じる金融

や広告やファッションの中心地としてのニューヨークではなくて、人懐っこい普段着のニューヨークの音楽だ。

フェルディナンドスというバンドとともに自己名義のアルバムで1999年にデビューして以来、ジェシーの音楽に変わらないところがあるとすれば、この人懐っこさということに尽きる。2001年のノラ・ジョーンズの爆発的なヒットによって、ノラの周辺にいたジェシー・ハリスやリチャード・ジュリアンといった才気溢れるシンガーソングライターたちに注目が集まり、あたかも、この街のシーンが突然活況を呈したかのように見えたかもしれないが、ここにはいつだって健全なシーンがあったことを、あのスザンヌ・ヴェガも証言

している。ノラが根城にしていたことで、一時観光地のようにさえたライブハウス「The Living Room」も、90年代には「Sin-é」という小さなカフェを前身として、この地で着実な功績を残してきたハコだった。ジェフ・バックリーの「Live at Sin-é」の音源、および映像には、その頃のアットホームな雰囲気がつっぷりと封印されているが、時代の変遷とは関係なく、この地にシンガーソングライターを生み出す古きよき土壌がいつだって存在してきたことの貴重な証ともなるだろう。

この町から出てきたシンガーソングライターには、一朝一夕のうちに拭いきるのことでできない頑なさがあるのはそのせいだろうか。頑なさは、き

### JESSE HARRIS TRIBUNE

らびやかさや目に彩な小手先の装飾に惑わされることのない質実さと言ってもいい。いまやアメリカを代表するシンガーソングライターとなったノラ・ジョーンズを聴いてみればわかる。その作品から聴こえてくるのは、いつだって身の丈にあった温もり溢れるサウンドだ。「人懐っこさ」は、譲ることのできない刻印として、この街のミュージシャンのなかにしっかりと刻み込まれている、ということになるうか。

#### ジェシー・ハリスのふたつの顔

ジェシー・ハリスも、こうしたシンガーソングライター・シーンの一員としてヴァレッジ界隈で長らく活動をしてきた。「The Living Room」では常連として毎週出演していたこともあるし、近年ではそこから目と鼻の先にある小さなライブハウス「Rockwood Music hall」に頻繁に登場している。根っこの部分は今なお変わることがない。ただし、ジェシーはちょっと浮気者だったりもする。

ジェシーはたまに、自分が本来根ざしているシーンからちょっとハミ出では、「Nublu」という小さなクラブに向向くことも多いのだという。ここはトルコ人サックス奏者イルハン・エルサヒンが主宰するクラブで、Wax Poeticというユニットの根城として世界的に知られるが、ブラジル音楽からフリージャズまで多種多様な音楽が飛び出す、ニューヨークの雑多さを象徴するような先進的な空間となっている。ジェシーが数年来絶大な信頼を寄せてきたパーカッション奏者マウロ・レフォスコは、Forro in the Dark というバンドの一員として、ここの常連となっている（ちなみにマウロは、あのトム・ヨークの新バンドAtoms for Peaceの一員として世界的に注目されている）。

シンガーソングライター・シーンの確固たる伝統を残すニューヨーク。と同時に、人種の坩堝として世界中のフレッシュな音楽家が跋扈するニューヨーク。そのふたつのニューヨークが、ジェシー

の音楽の間ではせめぎあっている。そうと知れば、ジェシーの最新作「スルー・ザ・ナイト」を理解するのはたやすい。

ジェシーは今回のアルバムを「生っぽくて、シンプルで、むき出しのものにしたいと思った」という。「エレキギター、エレキベースにドラム。裸のサウンドだね」。彼がそう語るとき、ぼくらはいとまたやすく、初期のアルバムを思い浮かべることができる。美しいメロディを洗いざらしのジーンズのような、肌理の粗い木綿のサウンドでくるんだあのサウンドだ。しかし、単純な原点復帰かといえばそんなことはない。ジェシー自ら語るように、今作で起用されているミュージシャンは、半分がアメリカ人だが、半分はそうではない。パーカッションのマウロ・レフォスコと、ベースのギレーメ・モンテロはブラジル出身。ホーンセクションの面々は、本作の録音場所であるバハマにて現地採用したミュージシャンたちだ。ストリップダウンした生々しいロックサウンドでありながら、いたるところにパーカッションやホーンなどの繊細なテクスチャーが加わって、より重層

## NEW ALBUM

収録曲
日本限定スペシャル・エディション

- Put It Out Of Your Mind
- Till You Drop
- Pixote
- Through The Night
- It's A Long Way Just To Say Hello
- What Am I Doing Out Here
- All That Happened
- Gone Without A Sound
- Trees In A Fence
- Dream Of The Past
- All Day All Night
- Way To Be
- Tough As Water
- Making Up For Lost Time
- Happy
- Nothing At All

(15, 16 は日本盤のみ収録)

VIVO-256

### ヴァレッジ発の人懐っこさを味わう



**RICHARD JULIAN**  
Girls Need Attention / Compass

ジェシーの親友にして盟友。スザンヌ・ヴェガとの共演歴もありランディ・ニューマンも絶賛する才人。ノラと共にリトル・ウィリーズにも参加する。



**NORAH JONES**  
The Fall / Blue Note

彼女を発掘しNYに連れてきたのがジェシーと左記のリチャードだった。ビッグスターになった今も、人懐っこい等身大のサウンドに変わりはない。



**Sasha Dobson**  
Modern Romance / Plankton

ジェシー・ファミリーの一員と言っている女性SSW。品格のある歌声と作曲センスが売り。ノラの最新作に参加、ツアーでも抜群のコーラスを聴かせた。



**original soundtrack**  
The Hottest State / Hickory

役者志望の青年とSSWを目指す少女の切ない恋をヴァレッジを舞台に描いた映画のサントラ。ジェシーの楽曲を、ファイトほか多数多彩なゲストが歌う。



**JESSE HARRIS & THE FERDINANDOS**  
The Secret Sun / Verve

シンプルなメロディ、洗いざらしのざっくりとした演奏。普段着のニューヨークたちの肩肘張らない日常を映し出したレイドバック感たっぷりの3rdアルバム。

NYの音楽シーンでいま一番注目集める個性派ミュージシャンが参加！ Mauro Refosco マウロ・レフォスコ (アトムス・フォー・ピース、デイビッド・バーン、ラウンジ・リザーズ、ペベウ・ジルベルト etc.) Bill Dobrow ビル・ドブロウ (ブラック・クロウズ、マーサ・ウェインライト etc.) Guill e reme Monteiro ギレーム・モンテイロ (ペベウ・ジルベルト、エリーナ・エリアス etc.)